

## I. (日本繊維技術士センターの行事予定)

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維J T C C」で検索できます。  
「月間行事」「教育、講座」 (受講の申し込みや詳細はJ T C Cホームページをご覧ください)

### < J T C C 講座のご案内 >

(各講座は、コロナ対策を行っております。募集人員の制限、オンライン化など)

#### ◆ 「アパレル製品の基礎知識」講座

アパレル製品を取り扱っている方の必須の基礎知識を分かりやすく学べます。

アパレル製品に使用される繊維材料の特性や生地製造方法、染色加工法、アパレル製品のマーケティング、縫製工程、試験・検査方法、アパレル製品の品質表示や関係する法律などを解説します。消費者クレームの問題解決方法について、詳細に説明します。

日時	会場	募集人員	受講料	申し込み方法
令和3年2月 13日(土曜日) 20日(土曜日) 27日(土曜日) 毎回 13時~17時	オンライン方式 Teams 利用	100名	20,000円	FAX 06-6484-6575 Web 後日連絡

詳細は後日、ホームページをご覧ください。(2021年1月以降)

#### ◆ 「2021年度 技術士二次試験受験講座」(詳細はJTCCホームページを確認して下さい)

2021年3月より講義を開催します。

#### ◆ 「2021年度 TES 受験講習会」(詳細はJTCCホームページを確認して下さい)

2021年4月より講義を開催します。

#### ◆ 「技術士試験のオープンセミナー」(詳細はJ T C Cホームページをご覧ください。)

大阪会場、東京会場、福井会場のセミナーは、通信型セミナーで行います。日程は後日連絡します。

## ◆JTCC「第81回 公開講演会」(繊維部会)

(詳細、参加申し込みはJTCCホームページをご覧ください。)

回	テーマ(講師)	日時	会場
第81回 講演会	世界のテクニカルテキスタイルの最新開発動向 シオタニ&オフィス代表 塩谷 隆	2020年12月18日 13時30分～16時30分	大阪産業創造館 6階研修室 AB
	低炭素社会に向けた繊維産業の手立て JTCC 森本國宏		

公開講演会の参加費： 2000 円 資料のみは 1000 円

## II. (業界ニュース)

### 1. 経済産業省

新情報はなし

### 2. 化繊協会、日本綿業振興会、日本染色協会

#### ●化繊協会 (詳細は化繊協会のHP)

#### 【生産動向】

化学繊維生産は 50,456 トン、前年同月比 27.0%減、うち合成繊維生産は 37,605 トン、前年同月比 33.3%減であった。

主要品種では、ナイロンFは前年同月比 71.1%減の 1,878 トン、アクリルSは同 33.0%減の 7,151 トン、ポリエステルFは同 36.3%減の 6,275 トン、ポリエステルSは同 23.2%減の 5,440 トンであった。

#### 【在庫動向】

化学繊維在庫(生産者)は 102,146 トン、前月比 8.4%減、前年同月比 4.5%増、うち合成繊維在庫は 73,555 トン、前月比 11.1%減、前年同月比 5.4%の減であった。

主要品種では、ナイロンF 12,170 トン、前月比 20.7%減、アクリルS 13,941 トン、同 6.7%減、ポリエステルF 8,869 トン、同 13.1%減、ポリエステルS 15,191 トン、同 17.2%の減であった

## 繊維輸出

### 繊維品輸出、大幅減—2020年1～10月

ベトナム統計局によると、2020年1～10月のベトナムの繊維品輸出は、繊維原料は前年同期比15.6%減の29.1億ドル、繊維製品は同9.3%減の247.6億ドルとともに減少となった。

ベトナムの繊維品輸出は、2019年は、米中貿易摩擦の影響などもあり高成長を維持したが、2020年に入り、世界的な新型コロナウイルス問題により、主力の繊維製品を中心に減少に転じた。

同期間の主要な繊維品の輸入は、綿花は同14.5%減の19.2億ドル、糸類は同20.1%減の16.1億ドル、織物類は同13.0%減の95.3億ドルといずれも2桁減となった。織物類の輸入については、縫製品の輸出減少に伴い大きく減少した。

## 環境

### Fashion Pact、7つの新目標を策定

2019年のフランス・ビアリッツで開催されたG7サミットでは、フランスのEmmanuel Macron大統領が、大手ブランドKeringに託し、地球温暖化防止、生物多様性、海洋保護に焦点をあてた「Fashion Pact(ファッション協定)」は、このほど発足から約1年が経過した。

この1年間でFashion Pactへの参加企業は、当初の32社から、現在では14カ国60社を超えるまでに約倍増となり、参加ブランド数は200以上、ファッション産業全体のシェアの3分の1を占める勢いとなった。主な参加企業・ブランドはKering、Chanel、Hermès、Burberry、Nike、Adidas、Nordstrom、Ferragamo、Puma、PVH Corp、GAP、Bally、Ralph Lauren、Capri Holdings、Tapestry、Zegna、Giorgio Armani、Inditex、H&M、利豊、山東如意などである。

Fashion Pactは、従来の「気候変動」、「生物多様性」、「海洋自然保護」の3つに重点的な取組みの中で、今後戦略的に取り組むべき7つの目標を下記の通り設定した。

## 合繊原料

## 恒力石化、PTAに100億元超の投資

9月30日、大手PTAメーカーの恒力石化は、川上の生産能力の規模優位性を一層固めるため、また、ポリエステル全産業チェーンの総合的な競争力を増強し、収益力を高めるため、同社傘下の恒力石化(惠州)有限公司が、114.95億元を投資して、2ライン×年産250万トンのPTAプロジェクトを開始すると発表した。114.95億元の投資のうち、建設投資は99億元(そのうち、1.2億ドルは外貨)である。そのうち、自社資金で31.8億元を賄い、残りは銀行の融資となる。

このプロジェクトは2021年末に完成し、稼働開始となる予定。主にPTAメインプラント2基、ばら荷埠頭、汚水処理場、燃料ガスボイラー、循環水ステーション、貯蔵運輸区、総合動力ステーション、中水回収利用、メタノール水素製造、水素ガス回収システム、脱塩水ステーション、消防水ステーション、製品倉庫等が建設される。

同プロジェクトでは、業界をリードする緑色(環境対応)、スマート化のPTA生産工程技術が採用されており、これは、省エネで環境に配慮され、エネルギー消費が低く、安全で安定した運行の信頼性が高いという特徴があるという。

恒力石化は、中国最大手のPTAメーカーであり、現在の生産能力は合計年産1,160万トン、中国の合繊原料業界で唯一の千万トン級以上の生産能力を有する企業である。このプロジェクトが完成すると、同社のPTA生産能力は1,660万トン/年になる。公告によると、予定生産能力に達すると、年間平均売上高は212.5億元が見込まれる。

なお、このプロジェクトは、中国重点発展の七大石化産業基地の一つであり、石油精製化学工業一体化規模が全国一位の惠州大亜湾石化園区(広東省)に建設される、完成すると、惠州大亜湾石化園区における「兆級石化エネルギー新材料産業集群」の建設に重要な意義を持つ。

## ●日本綿業振興会（詳細はホームページ参照）

### ・2021/22 秋冬コットン素材傾向

<全般傾向> 一部分の紹介です。

#### ◆原点に返って

今シーズン、ファッションで注目されるのは、原点回帰への動きである。コロナ禍でリモートワークが広がり、カジュアル化が進んだことや、服を「着る」ことの意味を立ち止まって考える人々が増えていることなどがある。「ウエルビーイング」の考え方や「サステナビリティ」への機運も拡大し、素材選びでは、できるだけ自然に近い素材、自然を感じられる素材が意識されるようになってきている。そこで今、関心を集めているのが自然素材のコットンである。健康やウエルネスへの追い風もコットンを後押ししている。原点に返って足元を見つめ直す流れにのって、コットンは2021/22 秋冬もトレンドの一角を担う重要な素材と位置づけられている。

#### ◆自然とテクノロジー

新型コロナウイルスは自然からの逆襲ともいわれ、手つかずの自然の世界に目が向けられている。

今季は時間の経過がつくり出す自然の美を愛でるシーズン。ファブリックも自然やその成り立ち、地球やその持続的な進化にインスパイアされた、自然素材ゆえの不完全、不揃いや不均質を表現する外見や表面感を持つものが多くなっている。ここで不可欠なのがデジタルテクノロジー。手仕事の技術と連携し、織り編み、刺繍のテクスチャーに新しい視点を開く。

MUトレンドエリアで展開された「モンスターとパルファム(香水)」も興味深い。モンスターは、布地やアクセサリー、ネット、コルク、フック、ゴム、ナイロンなどの様々な素材をリサイクルして生まれた幻想的な生き物で、鎧を身に着けた人間のような外観をしている。キャラクターは皮肉屋で情熱的、繊細、何よりもエコロジカル。しかも感情や伝統、知恵、環境への愛が醸す特別な香水の香りを放つという。メイド・イン・イタリーのクラフトマンシップの誇りと、楽しい遊び心にあふれたテーマである。

## ●日本染色協会（詳細はホームページ参照）

・なし

### 3. (一社) 日本衣料管理協会、(一社) 繊維評価技術協議会 (織技協)

#### ● (一社) 日本衣料管理協会

7月12日に実施されました「TES 試験」の問題と回答が掲載されています。

#### ● (一社) 繊維評価技術協議会(織技協)

- ・2020年度 JNLA 技能試験「日用品分野／ホルムアルデヒド試験(JIS L 1041)」

##### JNLA 技能試験

2020年度 JNLA 技能試験「日用品分野／ホルムアルデヒド試験 (JIS L 1041)」への参加試験所の募集を開始しました

#### ●関西ファッション連合

- ・なし

### Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

#### ◆<繊維学会誌> 2020年11月号

##### 【特集】

<セルロースナノファイバー (CNF) の応用研究と実用展開(1)>

○セルロースナノファイバー材料の開発と実装

京都大学 矢野浩之

自動車の構造材に使用が検討されている CNF の開発経過を解説している。

- ・ CNF 研究の始まりは高強度材料から：高強度の材料を鋼鉄の 5 倍の強度を持たせることが可能である。
- ・ 透明繊維強化材料の開発：15NM の材料を用いると透明なフィルムが出来る。
- ・ 京都プロセス：低コストで CNF を作成する。アシックスのミッドソールに使用されている。CNF の開発経緯が説明されている。

○CNF の特徴を生かしたプラスチックの高性能化・高機能化

京都産技術研究所 仙波 健

・プラスチックの複合材料として、ガラス繊維や炭素線尾が使用されているが、環境対応やコスト対応を考慮すると CNF が有望視される。この複合材料の特徴について解説されている。

○セルロースナノファイバー強化プラスチック発砲多の特徴と応用

京都産技術研究所 伊藤彰浩

・プラスチック発泡体はシューズ、自動車のインパネやドアトリムに使用されている。機械的特性や熱的特性をカバーするために CNF の複合化により、気泡の微細化を行い、得られる特性について紹介されている。

○セルロースナノファイバーの最新実用展開について

京都産技術研究所 北川和男・高石大吾

・実用性を高めるために、低コスト化量産技術開発を行っている。その実例を紹介している。

○セルロースナノファイバーの染色とその応用

京都産技術研究所 上坂貴宏・井内俊文

・CNF はセルロースが基本構造である。綿と同様の考えから染色の可能性を検討している。

○KESによる布の物理的特性の測定と風合いの客観的評価

神戸大学 井上真理

・風合いの客観的評価の方法と KES 測定について解説している。応用範囲の広がりのために開発されたアタッチメントなどについて紹介している。

##### 【繊維学会記念連載】

○アパレル製造卸 成長の歩み3 激動の 1980 年代

繊維・未来塾 幹事 松下義弘

#### ◆<繊維製品消費科学会誌> 2020年10月号

・コロナ禍がもたらす新しいテキスタイルビジネス Dual Mode 時代を探る

(株)ミックプランニング 北川美智子

1. 大ブレーキがかかったファッション商品とオンライン効果
2. Sustainability への取り組み
3. 世界が予感するコロナ後のテキスタイル

シリーズ「感染症と繊維」

○日本の一般家庭用、医療用マスクの現状

(一社)日本衛生材料工業連合会 高橋紳哉

1. マスクの市場
2. 不織布マスクの機能進化は、不織布の進化がけん引
3. 持続的な市場成長に向けて

○興和ガーゼマスク生産レポート

興和(株) 藤森研一

シリーズ「感染症と繊維」

○環境配慮型レーヨンの現状と課題

ダイワボウレーヨン(株) 林 誠

○高齢者用インナー製品

イオンリテール(株) 谷崎 哲

技術レポート

○高機能タオル

クラレトレーディング(株) 手島宏一

○畳み込みニューラルネットワークを用いたピリング等級判定の試み

京都産業技術研究所 本田元志、廣澤 覚 カケンテストセンター 西野重樹、倉本幹也  
京都工芸繊維大学 北口紗織、佐藤哲也

◆<繊維機械学会誌> 「月刊せんい」 2020年10月号

- ・静電気の性質と人体帯電現象 信州大学 木村裕和  
静電気とはから、繊維と静電気の関係まで分かりやすく記載されている。
- ・タンパク質組成を基盤とした獣毛鑑別法 熊本大学 増田 豪  
(一社)ニッセンケン品質評価センター 関本有莉、東海有沙、有瀧宗重、安藤 健
- ・「粒子補足性バインダーパルプ「KPUL」について」 日本エクスラン工業(株) 小宮山拓三

(月刊誌)

◆<加工技術> 2020年9月号

- ・SDGsに貢献する繊維産業の着眼点 (下) 森本技術士事務所 森本國宏
- ・SDGsに関係する機器・システムメーカーおよび商社の展開 ファイバージャパン
- ・産業資材を中心とした直近の海外トピックス シオタニ&オフィス 塩谷 隆  
健康・医療分野(下)

◆<不織布情報> 2020年9月号

- 関連機器・検査機器
- ・注目の不織布関連機器・検査機器を紹介
  - ・新型コロナウイルス感染症と大気汚染の関係

◆<新聞、他>

・2020年1月～9月 の衣料品の輸入(ニット製品、布帛製品、付属品)

順位	国	数量：百万点(増減%)	シェア	金額：億円(増減%)	シェア
1	中国	412 (▼15.6)	60.7	10,777 (▼19.3)	55.2
2	ベトナム	99 (▼8.5)	14.5	3,201 (▼8.1)	16.4
3	カンボジア	31 (▼10.7)	4.5	849 (▼8.5)	4.4
4	バングラデシュ	43 (▼12.2)	6.4	849 (▼13.6)	4.4
5	ミャンマー	29 (0.6)	4.3	804 (▼2.9)	4.1
	全世界計	679 (▼13.7)	100	19,513 (▼16.4)	100

出所：日本貿易統計

コロナ禍の影響で、輸入量、金額が大幅に減少している。  
中国は大幅に減少している。

・グローバルアパレル大手企業の業績(2020年2/4期) 出所 2020年11月16日 織研新聞

企業名	期間	売上高：億円(増減%)	純益：億円(増減%)
インティデックス	2～7月	10,041(▼37.3)	▼243(-)
H&M	2～7月	9,544(▼33.7)	▼3,804(-)
ファーストリテイング	3～8月	8,003(▼21.8)	▼101(-)

## IV. 企業紹介、製品紹介

### 日本ダム株式会社



オンリーワンの技術で世界に挑む  
ブランドラベルの総合メーカー



### 日本ダム株式会社

日本ダムは、織ネームやプリントネームなどブランドラベルの総合メーカー。世界の一流ブランドやスポーツ選手が着るユニフォーム、大手企業の制服などに日本ダムでつくられたブランドラベルが採用されています。製品は小さいけれど、ブランドを輝かせる大きな存在。私たちはオンリーワン技術を福井から世界へ発信し続けます。



LABEL IS SILENT SALESMAN  
**ND** 日本ダム株式会社  
NIPPON DOM CO.,LTD.  
[本社・工場]  
〒910-3807 福井県福井市清水杉谷町45-163  
TEL(0776)98-2000 FAX(0776)98-4133  
<https://www.nippondom.co.jp>

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

ご希望の方は、[Jtccnews@mbr.nifty.com](mailto:Jtccnews@mbr.nifty.com) に投稿してください。(掲載料金は無料です)

賛助法人会員様の声(技術的な問題, JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先:[jtccnews@mbr.nifty.com](mailto:jtccnews@mbr.nifty.com)

JTCCニュース用のメールアドレスは、[Jtccnews@mbr.nifty.com](mailto:Jtccnews@mbr.nifty.com) です。

編集:一般社団法人 日本繊維技術士センター 企業接点強化部会 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail [jtcc@nifty.com](mailto:jtcc@nifty.com)

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail [jtcc-kt@nifty.com](mailto:jtcc-kt@nifty.com)

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469